

これまでのワークショップで出た機能の例

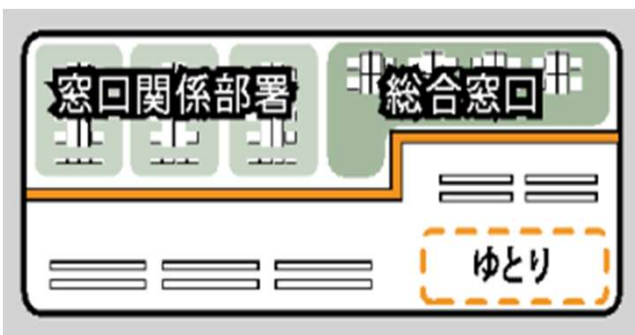
総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、ワンストップ(1つの窓口)だけで手続きが完結させることができ、利用者の移動負担を軽減できる。



ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに集約し、来庁者の移動を少なくして、利便性の向上を図る。



プライバシーに配慮した窓口

パーティションや半個室の相談ブースを設けることで、相談者のプライバシーを守りながら相談や手続きができる。



市民同士の交流の場

まちなぎわいが生まれることを目指して、庁舎内に市民が集い、交わる市民交流スペースを設置。



ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、お子様連れの方など多様な方に配慮した、だれもが安心して利用できる分かりやすいデザインとする。



市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の特産物、特産品のPR及び購入をしたり市政情報を得る場となる。



～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。



授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。



～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。



デジタルサイネージ

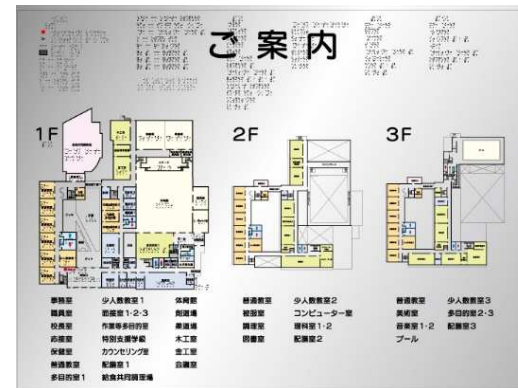
多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。



～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）



バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場を設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。

